

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第295号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年10月19日 14時55分ごろ	
発生場所	広島県福山市沼隈町 ^{ぬまくま} 大野ゾワイ灯標 ^{おおの} から真方位137° 260m付近 (概位 北緯34° 22.45′ 東経133° 18.3′)	
事故等調査の経過	平成21年11月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 善榮丸 ^{ぜんえい} 、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	135122、一陽海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船尾船底に擦過傷	
事故等の経過	本船は、船首約1.76m、船尾約4.02mの喫水で大野ゾワイ灯標の南東に錨泊するため、機関を止め、針路約066° 約4ノットの速力で航行中、平成21年10月19日14時55分ごろ、浅瀬に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2 海象：潮汐 下げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、大野ゾワイ灯標南東沖において錨泊する際、初めて錨泊する海域の調査に当たり、船長が、事前に大縮尺の海図を用意していなかったため、大野ゾワイ灯標南東付近の水深1.1mを小縮尺の海図で確認したことから、水深11mと見誤り、浅瀬に乗り揚げた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、大野ゾワイ灯標南東沖において錨泊する際、大縮尺の海図を事前に準備していなかったため、船長が海図の水深を見誤り、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	